

リベロ・コントロール・シート記入方法

I. 試合前に

アシスタント・スコアラーは、その試合を証明する事項が所定欄に正しく記入されているか確認しなければならない。もし、記入されていない場合は、以下のように記入する。
(リベロコントロールシート参照)

用紙の上部に

- 1.1 大会名
- 1.2 市町村名 (都道府県名・市町村名)
- 1.3 体育館名 (会場の名前)
- 1.4 コート名
- 1.5 試合順
- 1.6 性別 (男・女の欄に×を付ける)
- 1.7 種別 (シニア・大学・高校・中学校・その他の欄に×を付ける)
- 1.8 日付 (西暦・月・日)
- 1.9 設定時刻 (その日のプログラムに従って記入する。設定時刻が不明の場合は記入しない。)
- 1.10 対戦チーム名 (その日のプログラムに従ってチーム名を記入するが、AまたはBを記入する○枠はそのままにしておく。○枠内はトスの後に記入する。)

II. トスの後に

アシスタント・スコアラーは、試合の開始前に以下の情報を得ておく。

- 2.1 スコアラーからリベロ・プレーヤーの番号
- 2.2 得た情報をもとに、さらに続けて、
 - ・ シートの上部にある○枠内に、それぞれのチームのコートに対応するAまたはBを記入する。
 - ・ リベロ・プレーヤーの番号を、それぞれのチーム欄に記入する。

III. 試合中

試合中、アシスタント・スコアラーは、それぞれのセットにおいて、各リベロの交代を以下のとおり記録をする。

- 3.1 **リベロと(通常)の競技者間で交代が行われた場合:** リベロの番号を“リベロ”欄に、リベロと交代した競技者の番号を“交代選手”欄に記入し、交代が行われたときの得点を記録する。得点欄の最初の数字は、交代を行ったチームの得点である。

二人のリベロ間で交代が行われた場合：コートに入るリベロの番号を“リベロ”欄に記入し、“交代選手”欄は空白のままにしておく。その際の得点については、前述のとおり記録する。

例	A		
	リベロ	交代選手	スコア(A:B)
①	19	6	0 : 0
②	19	6	4 : 3
③	5	8	4 : 4
④	19		5 : 4
⑤	19	8	10 : 7

記入例：チームAには19番と5番の二人のリベロがいる。

- ① 点数が0 : 0の時にリベロ19番が6番の競技者と交代した。
- ② 4 : 3の時に6番はリベロ19番と交代してコートに戻った。
- ③ 4 : 4の時にリベロ5番が8番の競技者と交代してコートに入った。
- ④ 5 : 4の時に二人のリベロ間で交代が行われ、リベロ19番がコートに入った。
- ⑤ 最終的には10 : 7の時に8番の競技者がリベロ19番と交代してコートに戻った。

(解説)

訂正（記載ミス、リベロの交代が訂正されたとき、交代が認められなかったとき）の場合は、記載した行を2本線で消し、新たにに次の行に記載する。

3.2 病気・負傷・プレーの調子が悪いなどのためにリベロ・プレーヤーの再登録をする場合は、新しいリベロの番号を用紙の下部にある欄に記入しなければならない。

例えば：Aチームで一人だけのリベロが何らかの理由で競技続行ができなくなった場合、再指名したリベロの番号を次のように記録しなければならない。

（Aチームが、第2セット、得点9 : 5のとき、No. 7をリベロ・プレーヤーとして再指名した）

Aチーム : リベロプレーヤー No. <u>19</u> / <u>5</u>
再指名 :
No : <u>7</u> セット : <u>2</u> 得点(A:B) : <u>9 : 5</u>

以上の記入方法は1セットから2セットまでは同様である。

3.3 最終セット（第3セット）の場合

- a) トスの後に、アシスタント・スコアラーは“第3セット”の枠の下の空欄に、それぞれのチームのコートに対応するAまたはBを記入する。左側のコートでプレーするチームを左側の枠内に記入し、右側でプレーするチームを真ん中の枠内に記入する。
- b) アシスタント・スコアラーは、第3セットと記された最初の二つの区分を使い、1セットから2セットまでと同じ方法で記入する。
- c) 13点でチェンジ・コートの際、アシスタント・スコアラーは、さらに右側にある3番目の区分を使い、それまで左側の第1番目の区分に記載されたチームのリベロの交代を記録し続ける。

IV. 試合後

- 4.1 アシスタント・スコアラーは、シート下部にある欄に署名する。
- 4.2 アシスタント・スコアラーは、シートを審判員に提出し、確認を受ける。その後、リベロ・コントロール・シートは記録用紙（原本）に添付されなければならない。